

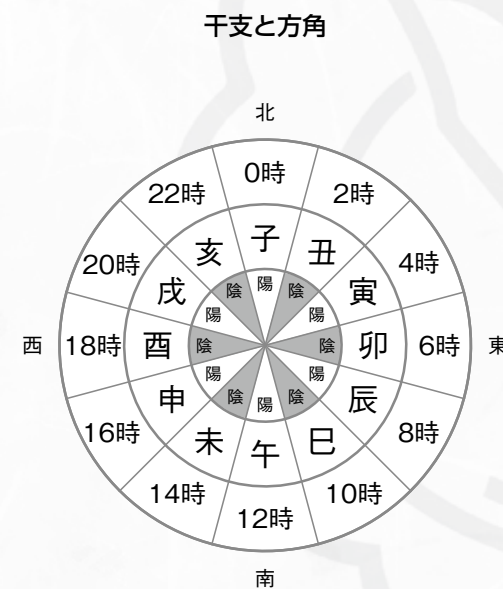
「六十干支」の意味

十干十二支一覧表

1 甲子	2 乙丑	3 丙寅	4 丁卯	5 戊辰	6 己巳	7 庚午	8 辛未	9 壬申	10 癸酉	11 甲戌	12 乙亥
13 丙子	14 丁丑	15 戊寅	16 己卯	17 庚辰	18 辛巳	19 壬午	20 癸未	21 甲申	22 乙酉	23 丙戌	24 丁亥
25 戊子	26 己丑	27 庚寅	28 辛卯	29 壬辰	30 癸巳	31 甲午	32 乙未	33 丙申	34 丁酉	35 戊戌	36 己亥
37 庚子	38 辛丑	39 壬寅	40 癸卯	41 甲辰	42 乙巳	43 丙午	44 丁未	45 戊申	46 己酉	47 庚戌	48 辛亥
49 壬子	50 癸丑	51 甲寅	52 乙卯	53 丙辰	54 丁巳	55 戊午	56 己未	57 庚申	58 辛酉	59 壬戌	60 癸亥

十干の「干」は木の幹が語源で、「甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸」の字で表す。この十干に五行の「木・火・土・金・水」を当て、さらに陽を表す「兄（え）」と陰を表す「弟（と）」を組み合わせて、「甲（木の兄Ⅱきのえ）、乙（木の弟Ⅱきのと）、丙（火の兄Ⅱひのえ）、丁（火の弟Ⅱひのと）、戊（土の兄Ⅱつちのえ）、己（土の弟Ⅱつちのと）、庚（金の兄Ⅱかのえ）、辛（金の弟Ⅱかのと）、壬（水の兄Ⅱみずのえ）、癸（水の弟Ⅱみずのと）」となる。

一方、十二支の「支」は、木の枝の意味で、古代中国では方角を十二に分け、その方角記号として動物の名を当てたものが十二支「子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥」である。
この「十干」と「十二支」を組み合わせると、「六十干支・十干十二支」になる。



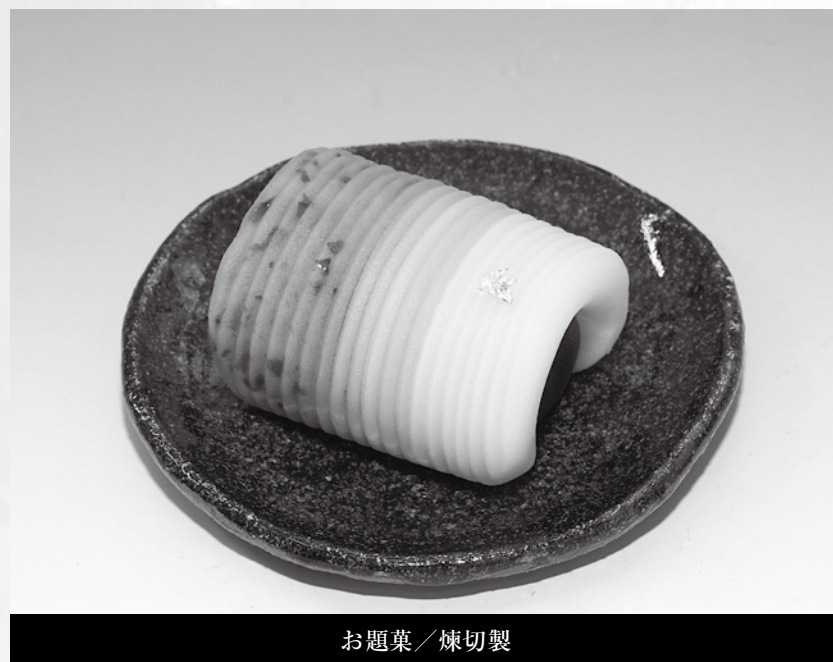
「兔」の主な成り立ち

甲骨文字
古文
小篆
楷書

お題干支菓の つくり方



◆制作／関根雅史
◆協力／せきね（埼玉・加須市）

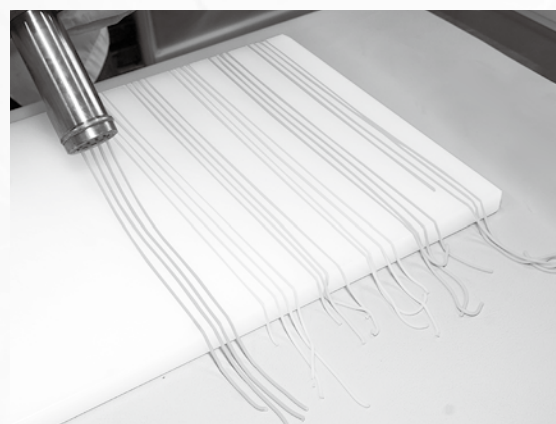


お題菓／煉切製

友の輪

（仮称）

- 煉切餡配量
 - 白生餡……………1000g
 - グラニュー糖……………600g
 - 倍割求肥……………125g
 - 水飴……………80g
 - 小豆中綿餡配量
 - 小豆生餡……………1000g
 - グラニュー糖……………680g
 - 水飴……………80g
- 他に、蜜漬小豆、銀箔を用意する。



② それぞれ小田巻器に入れて細棒状に押し出す。



① 用意した煉切を、薄紅、橙、黄、緑、青、紫の6色に染める。
※LGBTのレインボーフラッグの色。

◆製法工程（写真参照）